

資料④：アンケート調査（結果）について

平成 30 年 1 月

南 城 市

1 調査概要

- 小・中・高校生の移動実態を把握するため、以下の概要でアンケート調査を実施しました。

表 1.小・中・高校生アンケートの概要

項目	内容
調査目的	既存調査で把握されていない小・中・高校生の移動実態やニーズの把握
把握項目	<ul style="list-style-type: none"> ●通学・下校の実態（手段、時間帯、所要時間） ●休日の移動実態（目的、訪問先、同行者、頻度、手段、時間帯、所要時間） ●公共交通の利用状況 ●公共交通に対する要望や公共交通を運行して欲しいところ 等
調査対象	小学2年生・・・約 500人 小学4年生・・・約 500人 小学6年生・・・約 450人 中学生・・・約 1,300人 高校生・・・約 1,350人 計・・・約 4,100人 ※小学生は、保護者と一緒に回答
調査方法	学校に協力依頼を行い、調査票の配布・回収を行う。

表 2.調査対象

区分	学校名
小学校（9校）	佐敷小学校、馬天小学校、 知念小学校、（併）久高小学校、船越小学校、 玉城小学校、百名小学校、大里北小学校 大里南小学校
中学校（6校）	佐敷中学校、知念中学校、 （併）久高中学校、玉城中学校、大里中学校
高等学校（8校）	知念高等学校、向陽高等学校、 南部商業高等学校、南部工業高等学校、 南部農林高等学校、南風原高等学校、 糸満高等学校、沖縄水産高等学校

2 調査結果の概要

サンプル数 小学校：570
 中学校：1,065
 高校：559

2.1 登校の状況

- 平均登校時間は、小学生 14 分、中学生 16 分、高校生 22 分。
- 年代が上がるにつれ、「徒歩」通学が減少、「クルマで送迎」が増加。高校生の 69%は「クルマで送迎」。
- 小・中学生の学校到着時間は 7:30～7:45 に集中しているのに対し、高校生は 7:15 頃と 8:30 頃の 2 つのピークがあります。

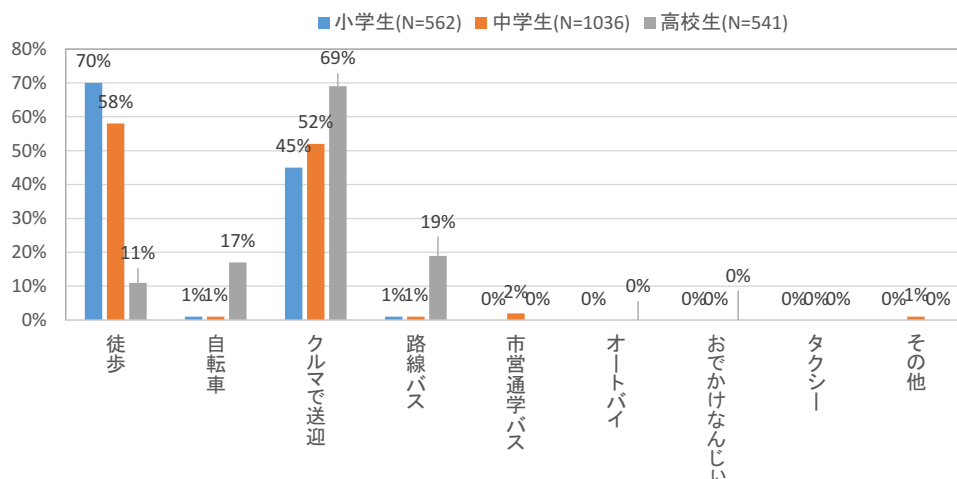


図-1.小・中・高校生の登校手段

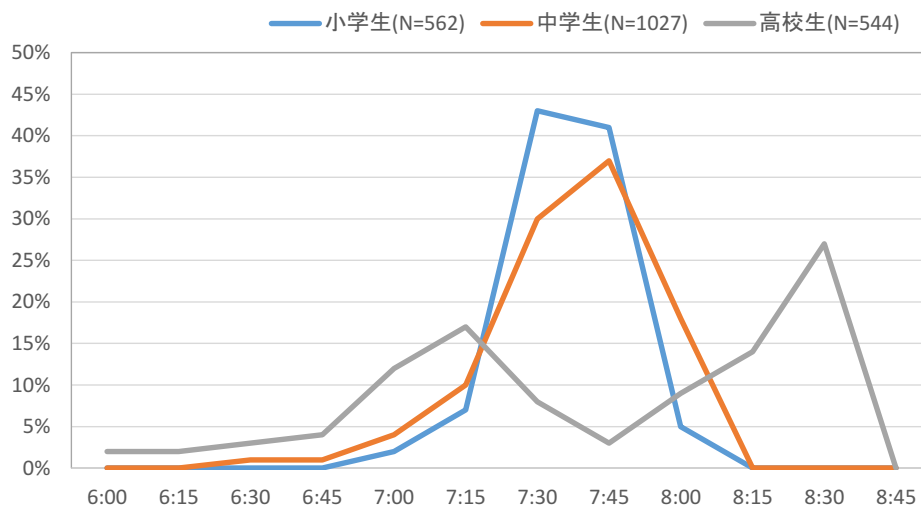
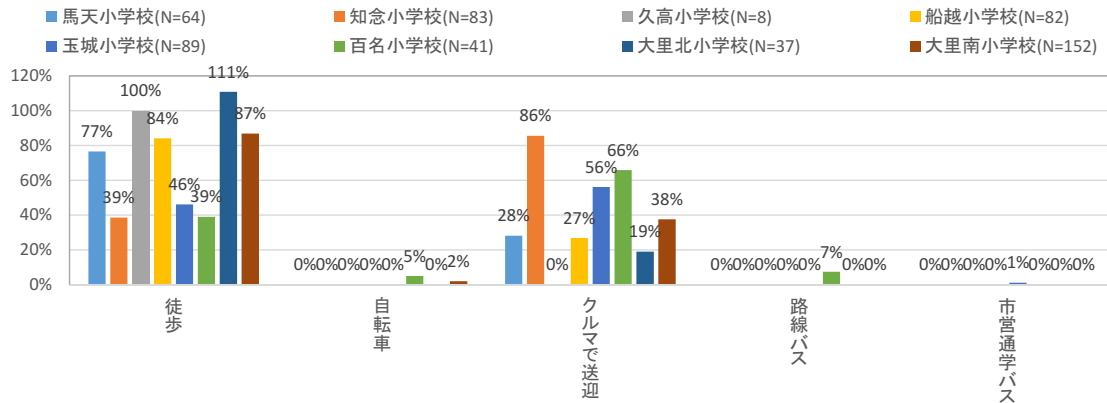


図-2.登校時の学校到着時間

- 知念地域、玉城地域は小学生、中学生ともに送迎の割合が高く、知念中学校、玉城中学校は「クルマでの送迎」が8割を占めます。
- 中学生、高校生の2割強は現在の学校到着時間の変更を希望、平均で約30分遅く到着を希望しています。



※大里北小学校の「徒歩」は、集団登校で集合場所までの徒歩移動と、集合場所からの徒歩移動の両方が計上されているため、100%を超えている。

図-3.小学校別の登校手段

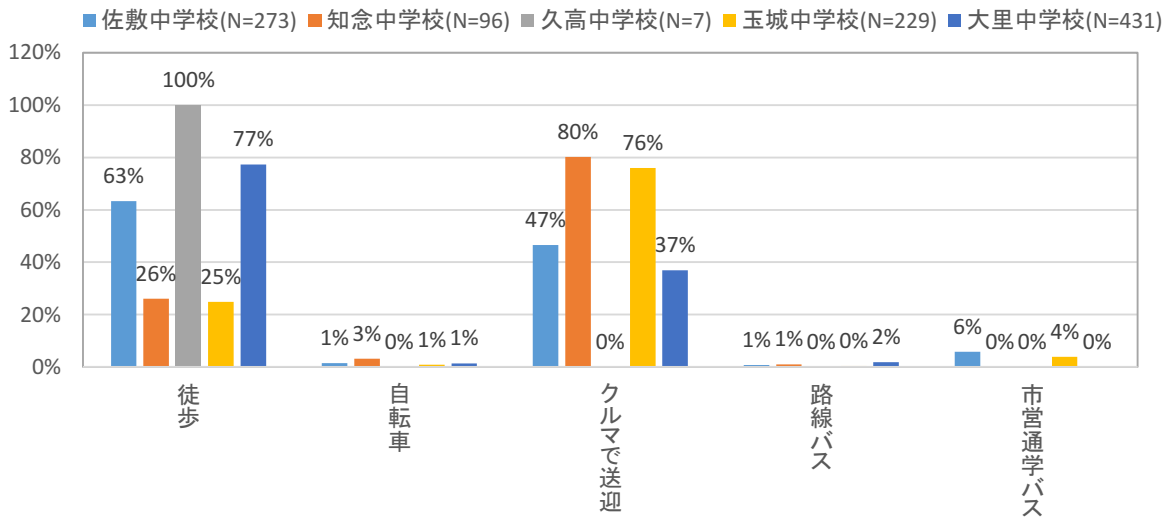


図-4.中学校別の登校手段

2.2 下校の状況

- 平均下校時間は、小学生 37 分、中学生 27 分、高校生 45 分(帰りの塾等の立ち寄りも含む)。
- 高校生は「徒歩」での下校は 15%、「クルマで送迎」が 57%を占め、「路線バス」での下校も 28%と多い。(登校での路線バスの利用は 19%)
- 小学生の学校出発時間は 16:00 前後に集中しているのに対し、中学生は 16:00 頃と 18:20 頃の 2 つのピーク、高校生は 16:00~20:00 に分散しています。

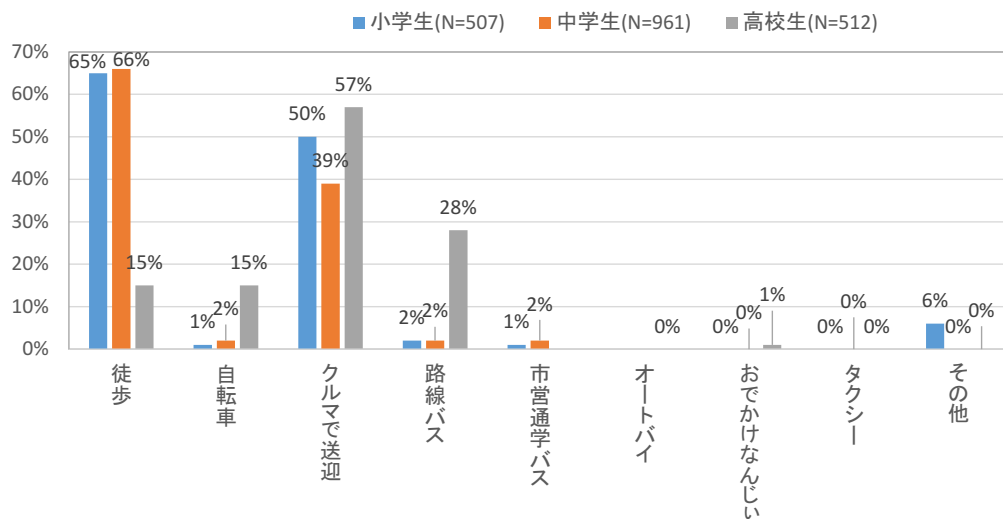


図-5.小・中・高校生の下校手段

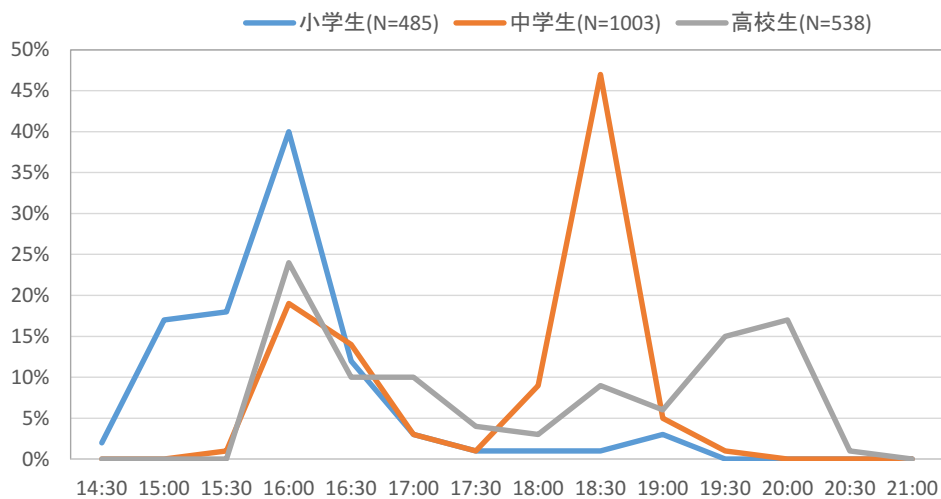


図-6.下校時の学校出発時間

2.3 休日等の外出状況

- 小学生は「塾・習い事」、「買い物」、中学生は「部活・クラブ活動」、「塾・習い事」、高校生は「部活・クラブ活動」での外出が多くなっています。
- 高校生の22%は「あまり外出しない」と回答。
- 高校生は「路線バス」での外出も18%を占める。

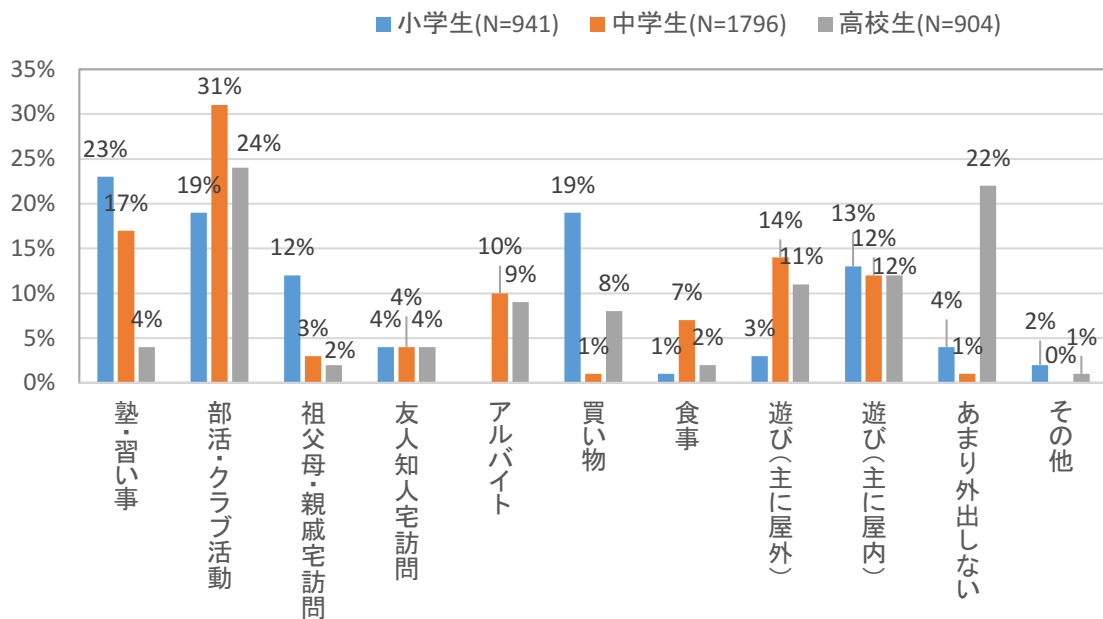


図-7.休日等の外出目的

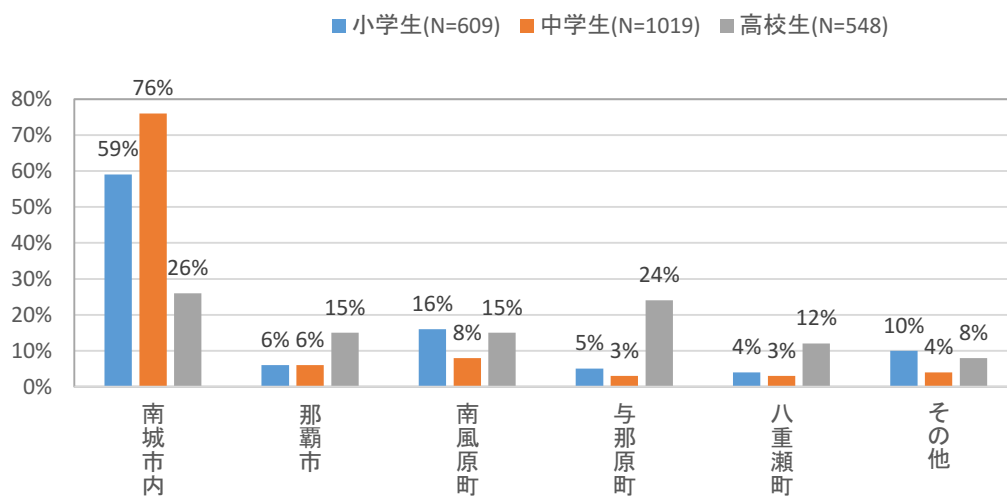


図-8.休日等の外出先

●外出時の移動手段は「クルマで送迎」が多く、小学生の66%、中学生の52%、高校生の46%を占めています。

●高校生は「路線バス」での外出も18%を占めています。

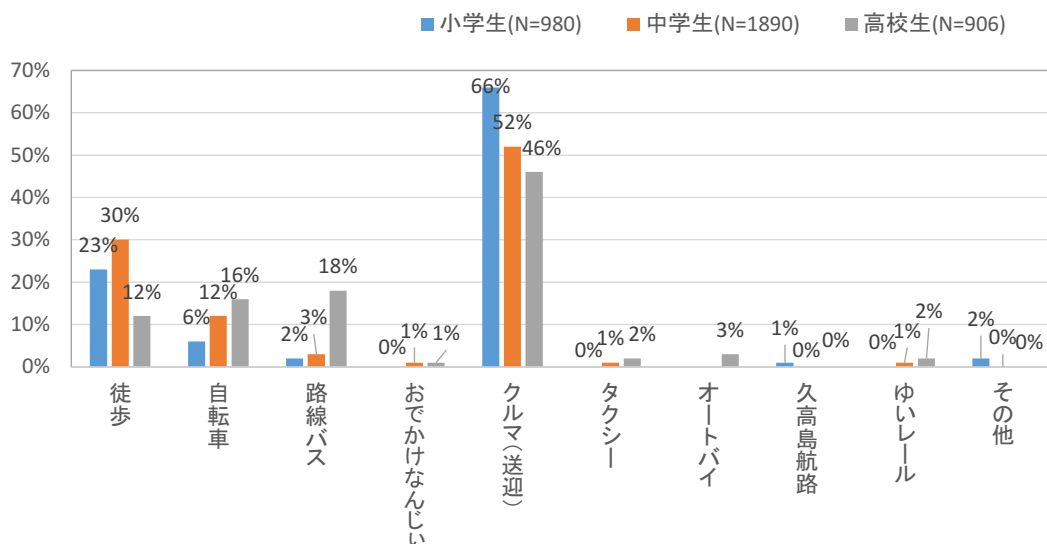


図-9.休日等の外出時の交通手段

2.4 通学バスの利用意向

- 登下校とも高校生の利用意向が高くなっています。
- 運賃の支払意思額は、小学生 144 円、中学生 148 円、高校生 280 円。
- 1 ヶ月定期の支払意思額は、小学生 2,955 円、中学生 2,092 円、高校生 5,872 円。

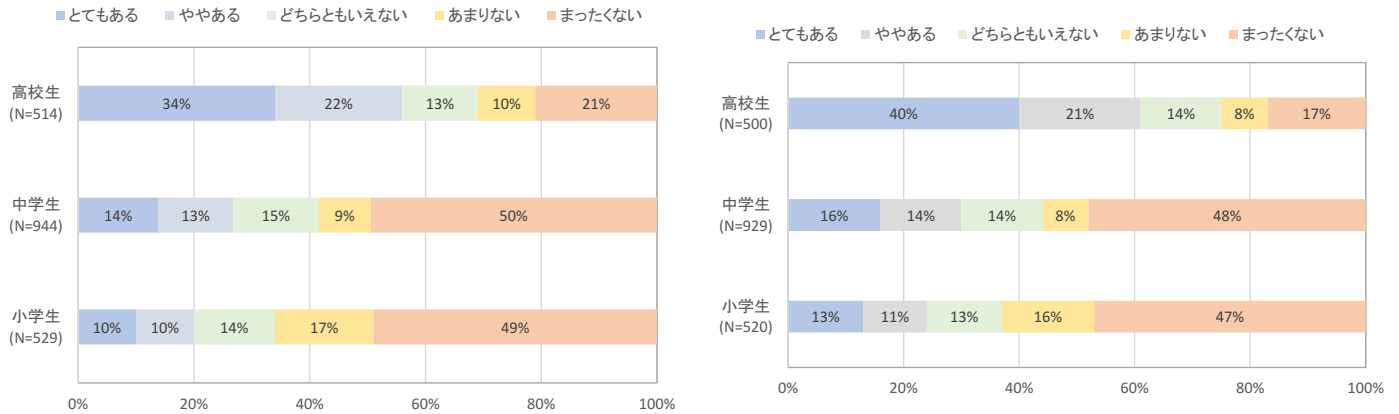


図-10.通学バスの利用意向(左:登校、右:下校)

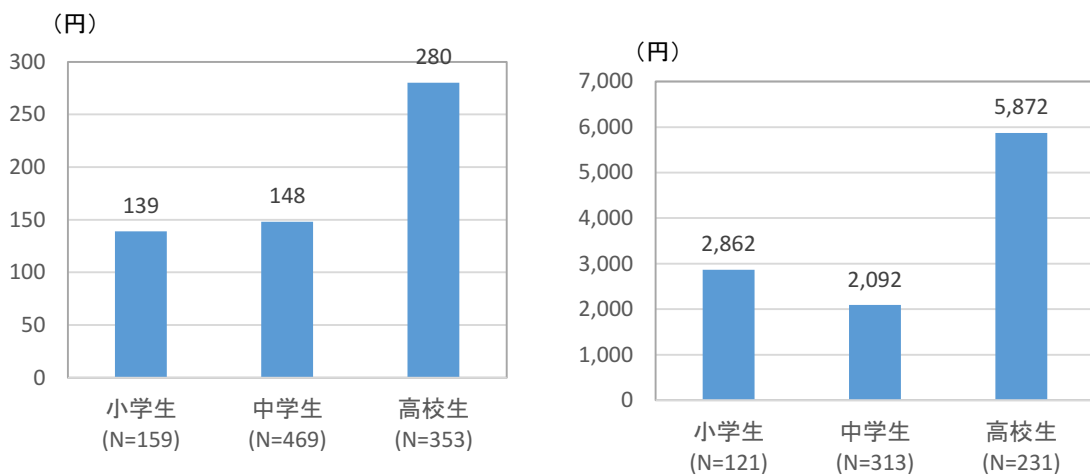


図-11.通学バスへの支払意思額(左:1回あたり、右:1ヶ月あたり)

2.5 公共交通に対する認識

- 「最寄りバス停」については9割が認識。
- 路線バスの利用に関する情報（最寄りバス停の運行系統、那覇までの行き方、時刻表）は、年代が上がるにつれ、認識している児童・生徒が多くなります。

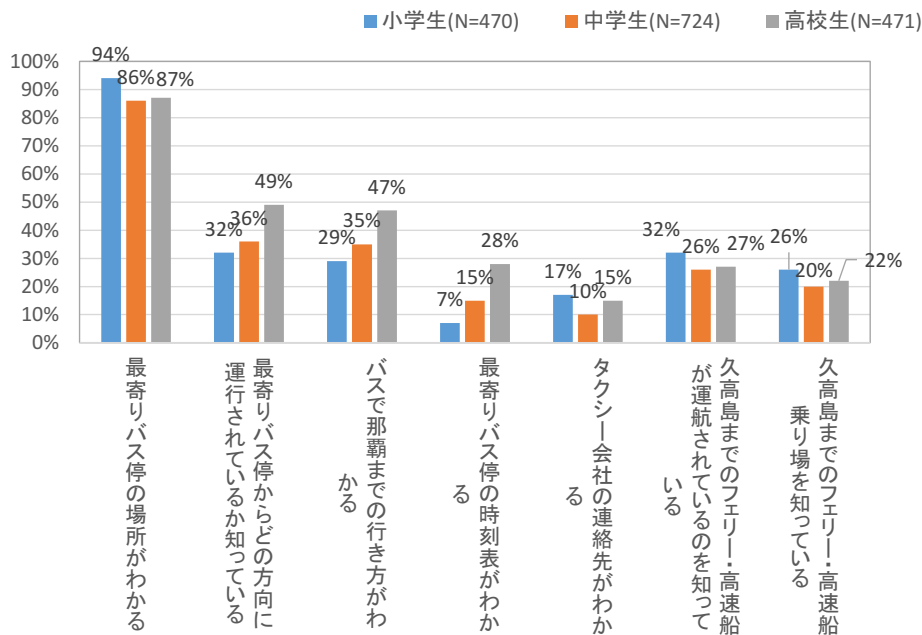


図-12.公共交通に対する認識

2.6 公共交通の利用状況

- 路線バスを利用したことがある児童・生徒の割合は、小学生 44%、中学生 66%、高校生 87%。
- OKICAの保有率は小学生・中学生が1割、高校生が4割。

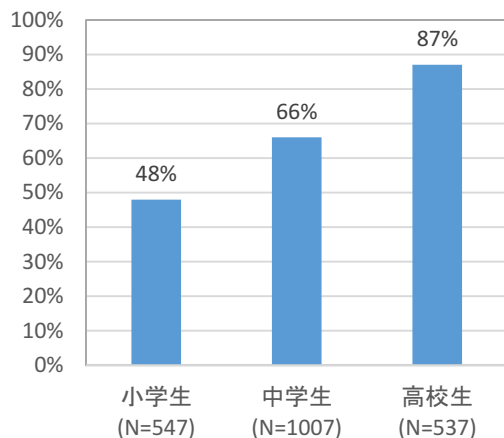


図-13.路線バスを利用したことがある児童・生徒の割合

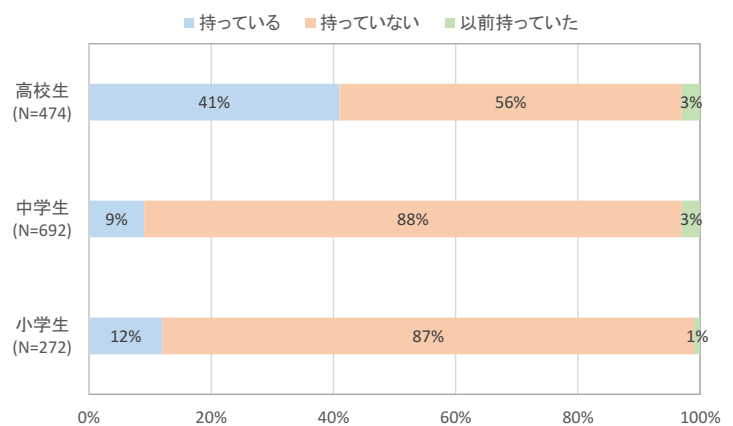


図-14.OKICAの保有状況

2.7 不便を感じている点

- 「目的地までの路線バスの運行本数が少ない」、「目的地までの路線バスがない」、「送迎にたよらないといけない」等の指摘が多くなっています。

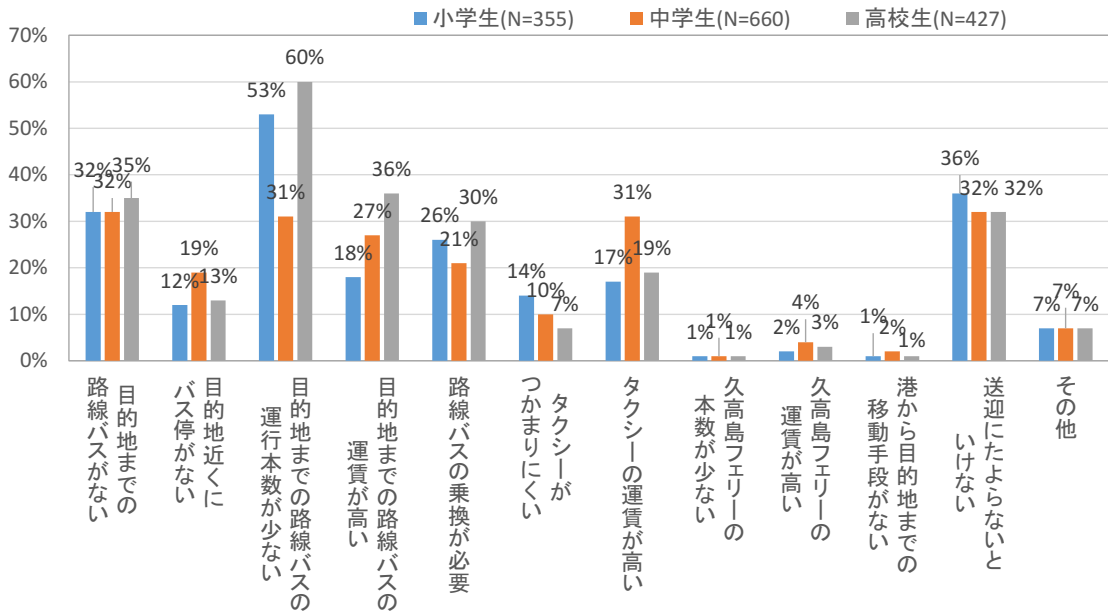


図-15.移動において不便を感じている点

2.8 路線バスの利用条件

- 「市内均一料金で移動できる」が4割と多くなっています。
- 高校生は「ほぼ時刻表通りに運行」へのニーズも4割と高くなっています。
- その他では運行本数の増便が多くあげられています。

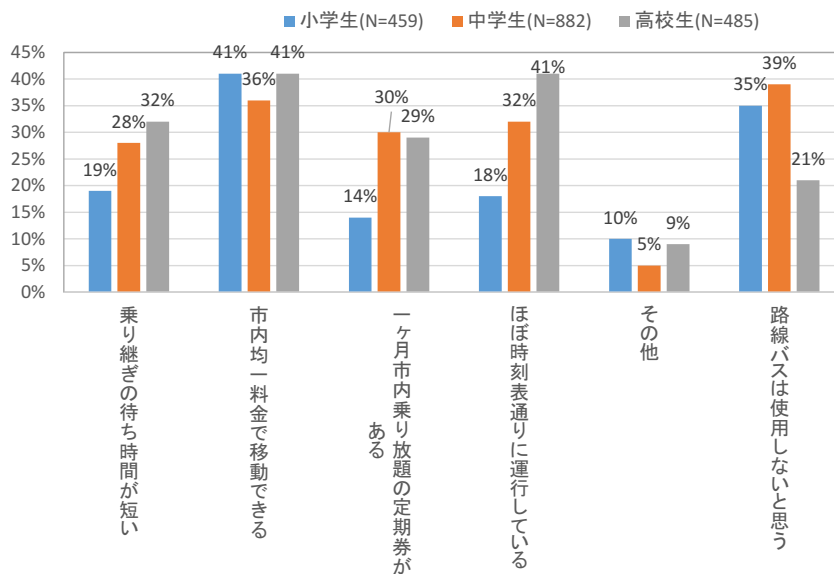


図-16.路線バスの利用条件

2.9 乗り継ぎ拠点への要望

- 「コンビニ」の設置要望が5~6割、「イトインスペース」が3割と高くなっています。
- 小学生は「図書館」へのニーズも4割と高いです。

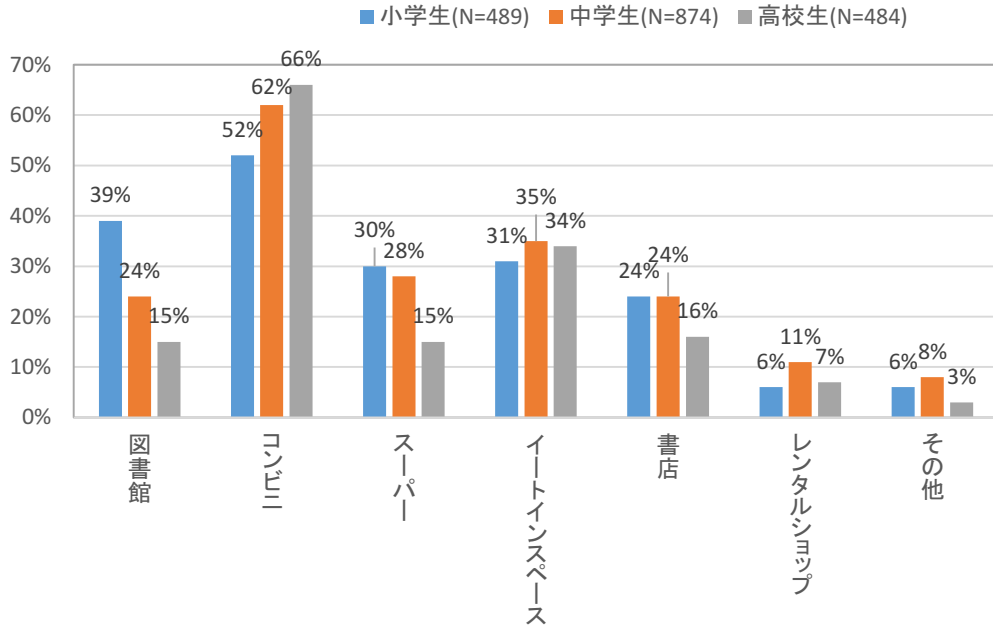


図-17.乗り継ぎ拠点への要望

～ 参考 交通事業者等ヒアリングにおける乗り継ぎ拠点に必要な機能・施設～

平成 28 年度に実施した交通事業者、旅行会社等に実施したヒアリング調査では、乗り継ぎ拠点に必要な機能・施設として、市民向けには「バスの運行情報板」や「タクシー乗り場」などが、観光客向けには「Free Wi-Fi」や「バスの運行情報板」、「観光案内所」などがあげられています。

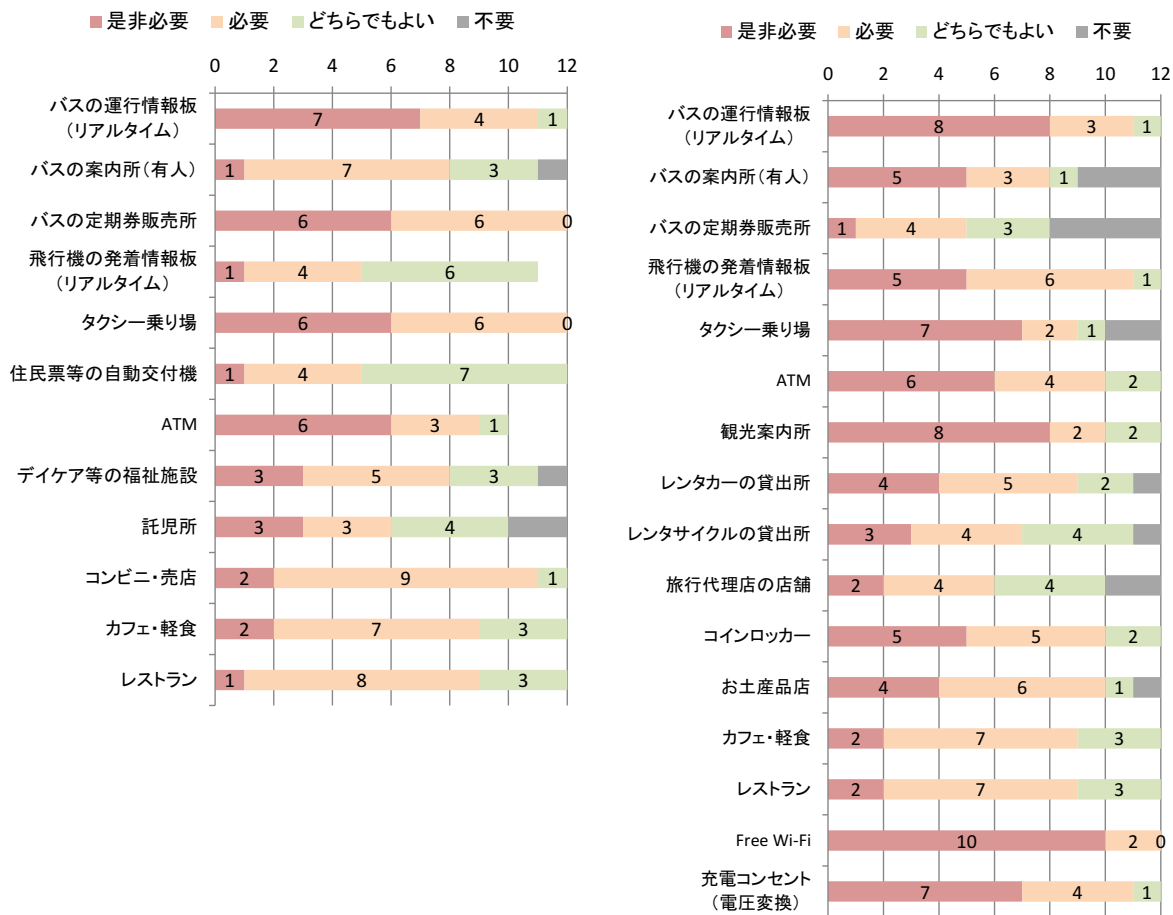


図-18.乗り継ぎ拠点に必要な機能・施設(左:市民向け、右:観光客向け)

2.10 要望・アイデア

(1) 南城市内の移動

【路線バスの運行本数】

- バスは本数が少なく、利用が難しい。車が無いと生活ができない。デマンドバスサービスも市内のみ。
- 本数が少ない、大里北小から南小までの移動手段が欲しい。
- 路線バスの本数が少ない。
- 今の路線バスより小さくして（おでかけなんじいよりは大きい）、運行本数や運行路線を多くする。
- バスの本数を増やしバス停も増え、南城市内なら乗り継ぎ無しがあれば良い。
- バス停が近いので利用したいが本数が少ないので困る。

【運行時間・ダイヤ】

- 子供やお年寄りがバスを待てるように 30 分おきにバスを運行して欲しい。
- バスを 6 時 15 分に来れるようにして欲しい、時間を守って欲しい。
- 時間を遅れないようにして欲しい。

【路線バスの経路・バス停位置】

- 知念高校へ進学するお兄ちゃんがあります。1 本でバス通学できると助かります。
- 知念からニライカナイを通るバスが欲しい。
- 子供たちやお年寄りの行動範囲を考えてほしい。広い範囲で走るバスも必要だと思いますが、地区ごとに、住宅街からスーパーや学校を回るバスがあるといいなと思います。
- 市内の観光施設や主要施設を定期的に巡回するバスがあるといいと思う。一日フリーパスにすると観光客も地元市民ももっと市内で楽しめるのでは。
- 登校時間帯に短距離の路線をつくる。
- 学校や市役所などの公共機構を中心に路線ルートがあるとよい(観光地だけではない)
- 自分で通学できるように校区から中学校にバスを通してほしい。今バスが 1 本でいけるので、乗り換えにして欲しくない。
- 南城市内のバスを作ってもらいたい。
- 玉城から知念へのバスを通して欲しい。
- 大里方面の移動がしにくい。バスで行きやすくして欲しい。

【運賃・料金体系】

- 子供のバス料金くらいは安くして一律にしてほしい。
- 市内均一、学生料金の設定。
- バス賃が安く親切な運転手でしたら、バスに乗る機会も楽しく移動が普通になれそうです。
- 市内巡回バス、市内にある学校行き低価な定期券で。
- もっと運賃を安くして欲しい。
- 100 円タクシー、100 円バス。

【利用環境（バス停・案内・バリアフリー）】

- バス停を分かりやすくする為に、目立つような工夫をして欲しい。カーポートの様な、雨よけやベンチが欲しい。
- バス停(地名等)のアナウンスを方言でする。車内の広告は原則南城市の企業広告のみ。
- とっても分かりやすいマップが欲しい。
- 路線バスの時刻表と全域の地図を各家庭に配布。
- バス停に屋根を付けて欲しい。
- バスが初めてでも利用しやすい様にして欲しい。

【おでかけなんじい】

- おでかけなんじいの台数を増やす（いつも予約でいっぱいだから）
- おでかけなんじいが高いと思う。
- おでかけなんじいの料金が高いと思う。

【その他】

- レンタル自転車。
- 狭い道でも入れるトゥクトゥクなどはどうか。
- バスが現在どこを走っているのか見えるアプリを作って欲しい。そうすれば多少、遅れても気にならない。
- 幼、小、中を巡回するスクールバスがあれば送迎の車も減り、かなり時間も短縮できると思います。
（利用者は多いと思います）
- 夏休み中の塾や学校への送迎が勤務時間中となるため、負担になる
- タクシーが南城市内であれば 150 円～400 円。

(2) 南城市外の移動

【路線バスの運行本数】

- 那覇行きの本数を増やして。
- 乗り継ぎなしが1本でもあれば、せめて、那覇市中心部まで少ない乗り継ぎの本数を増やしてほしい。

【路線バスの経路・バス停位置】

- 那覇以外の中部方面に乗り継ぎなしで行けるようにバスを運行して欲しい。
- 船越区から知念高校へ進学する際に路線バスの不便を感じていました。与那原や南風原へ1本で行きたい。
- 南城市から那覇までの直行便を作る。
- 那覇空港への直行（or 乗り継ぎ無し）のバスが欲しいです。
- 子供たちが高校生になった時、どこの高校へ行くにもうまく乗り継ぎが出来る路線を考えてほしいと思います。
- 那覇や沖縄市など一本で行けるバスがあれば良い。
- モノレール駅までのバスが欲しい。那覇方面へ行くバスの本数がほしい。各高校への通学路線バスを充実させてほしい。

【運賃・料金体系】

- 那覇市へ行くまでの料金が高すぎる。これでは利用者が減るばかりでは。

【利用環境（バス停・案内・バリアフリー）】

- イベントなどの案内で楽しくバスに乗れるようにする。
- バス案内係がいつでもいれば子供、高齢者は利用しやすいと思う。
- 乗り継ぎが分かりにくいので分かりやすい表を配布する。
- 何番のバスでいくらかかるのかパンフレットが欲しい(ルートなど)。

【その他】

- 鉄道案を重点に進めた方がいいと思う。観光の目玉にもなる。
- シャトルバス
- 与那原の混雑がもう少し解決してくれれば時間短縮になり、ありがたい。
- 〇〇ツアーみたいなものがあるといいなと思う。文化財巡り、遺跡巡り、歌碑巡り、〇〇巡りなど。ガイドみたいに案内する人がいるともっといいなと思う。
- 首里駅までの送迎バスがあると那覇市内や空港へ公共交通機関で行けるのでとても便利になると思う。
- 南城市にバスターミナルを設備するのであればそこまで車で移動し、駐車するスペースがあれば郊外までバスで通勤することも可能だと思う。